

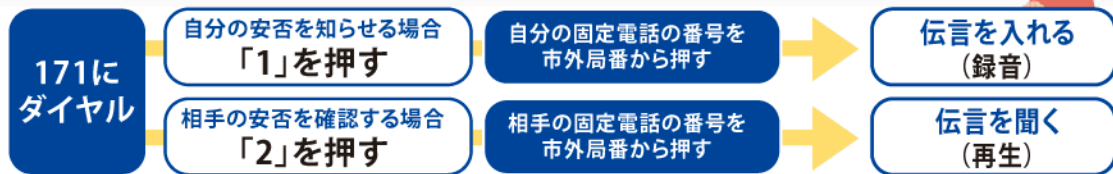
普段の通信手段が使えない場合には？

● NTT災害用伝言ダイヤル「171」

震度6以上の地震が起きると、発生の30分後を目標に開始されます。
毎月1日、15日などに体験日がありますので、あらかじめ使い方を覚えておきましょう。

両親や親しい人の連絡先を
メモなどに残し、防災グッズと
一緒に保管しておきましょう！

171



● 被災地の外の人を経由して連絡する

被災地から外へは電話がつながりやすい場合があります。それを利用してあらかじめ遠くの親戚や知人を連絡先に決めておきましょう。それぞれがそこへ電話して伝言を残せば連絡を取ることができます。

また、避難場所を知らせる貼り紙をしておく、防犯の上で心配です。「〇〇にいます」などと書いたメモをどこにおいたり貼ったりするか、家族だけが分かる場所を決めておきましょう。

非常用持ち出し品をチェック

一時避難用の持ち出し袋は、市販のものがありますが、軽くて丈夫なリュックサックを準備して必要なものを揃えることが大切です。目安として3日分。中味は一時的に使うものなので、100円ショップで買えるものでも大丈夫です。大切なことはすぐに持ち出せる玄関などの場所に置いておきましょう。



食料関係

- 飲料水
- 缶詰、レトルト食品など
- 卓上コンロ
(予備のボンベ)
- 固形燃料
- ラップ

衣類関係

- 防寒用具
- 寝袋 下着
- 厚手の軍手・靴下
- タオル・毛布
- 雨具

日用品

- トイレtpペーパー
- ウエットティッシュ
- マッチまたはライター
- 携帯ラジオ
- 石鹸
- 防水シート
- ビニール袋
- 携帯カイロ
- ナイフ・缶切りなど
- ティッシュ
- 生理用品

貴重品

- 現金(小銭も)
- 通帳・印鑑
- 身分証明書

安全対策

- 帽子
(落下物から頭を守るため)
- 懐中電灯・電池
- 救急セット
- 常備薬

その他、必要なものを書き出しておきましょう。

